



まがたま

第70号 平成26年6月10日
練馬区立豊玉中学校
〒176-0014 練馬区豊玉南 2-1-20
tel 03(3994)1451 fax 03(5984)2461
E-mail
info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp
URL
<http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

運動会で見た豊中生の団結力!

校長 井田 宗宏 いだ むねひろ

5月31日(土)快晴。真夏のような強い日差しが照りつける天候でした。絶好の運動会日和に恵まれ、第68回運動会を予定通り、本校校庭で実施することができました。これまでの運動会では、生徒たちの健康面、安全面に留意しなければならない場面に直面したことがあるだけに、学校全体が一丸となり、強い気持ちで臨みました。「生徒たちには最高のコンディションで最高の演技を大勢の保護者、地域の皆様にお見せしたい。」という熱い気持ちが伝わったように感じました。

多くの来賓、保護者、地域の皆様に見守られ生徒たちは、自分の持てる力をいかに発揮することができました。お忙しい中、早朝より心のこもった温かなご声援をいただき誠にありがとうございました。

当日は、各学年とも、たいへん盛り上がりましたが、私はそこまでに至る過程に特に注目したいと思います。練習が積み重ねられるとともに、本番一週間前、心身ともに疲労がにじみ出ていることが感じられました。例年以上に水分の補給や安全に配慮した練習に取り組むよう呼びかけました。そのような中でも、生徒たちは、自主的な朝練習や放課後練習を続けてきました。生徒と先生方が共に考え、悩み、前進する場面がいくつもありました。これらの小さな行動が、自然に本番の自信へとつながっていった気がしています。

また、様々な場面で下級生が上級生の活動を真剣な眼差しで注目している場面がありました。口頭で、説明したり、指示したりすることより、このような実際的な様子を体感することにより、上級生を敬う気持ちが芽生えてくる豊玉中の良き伝統に接した感じがしました。

特に集団演技、男子の「組体操」と女子の「豊中ソウラン」は全校練習の段階から学校の総力を挙げて取り組んできました。豊玉中にしかできない迫力と情熱が伝わってきました。全員で助け合い、支え合い、互いの信頼関係に基づき、一步一步前進してきました。本番では、見事に当初の目的を達成してくれました。どの場面を振り返っても生徒が心から素直に自己を表現しようとする気持ちが伝わり、一人一人の心に充足感がみなぎっていました。

運動会終了後、私は一連の生徒の活動について思いを巡らしました。当日までに、なかなかクラスがまとまらなかったり、団体種目がうまくいかなかったりして、悩み続けた生徒がいたはずですが、先生方も共に考えました。でも、結果にこだわらず、全力で取り組んだその姿が自然に信頼感を増し、生徒と先生方が心の強い絆で結ばれ、さわやかで感動的な運動会になったわけです。

学校は、子どもたちのために、意欲や勇気を培い、日常生活の中で、それらが「生きる力」につながっていけば、確実に上昇していくものです。

最後に、このように充実した内容の運動会が開催できましたのも、皆様の心からのご支援、ご協力があったからです。この日ほど、生徒、教職員、保護者の皆様、地域の皆様との一体感を感じたことはありませんでした。改めて深くお礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

■先月、小中一貫教育の取組の一環として小学生体験入学を行いました。授業見学の後に部活動を実際に体験し、中学校生活に対する理解を深めました。楽しく参加し、満足そうでした。

『小学生体験入学を終えて』

教務主任 津田 雅子

豊玉中学校では毎年小学生体験入学を実施している。その目的は以下の2つである。①小中一貫の一つの機会として、よりよい異年齢集団の学習の機会をもつこと。②豊玉中学校の学習、生活、部活動等を理解し、実際に学習や部活動を体験することにより、卒業後の中学校での学習や生活に興味・関心をもつこと、である。豊玉小学校、豊玉南小学校の6年生、136名が今年もこの体験に参加した。当日のプログラムは、5時間目に授業見学、6時間目に授業・部活動体験、終了後には生徒会役員による説明会であった。児童たちはどの場面でも生き生きとした表情を見せ、中学生との交流を楽しんでいた。よき交流の機会となり、大変貴重な行事となった。

■5月31日の運動会は天候にも恵まれ、感動が感動を呼ぶ運動会となりました。生徒全員が、熱い思いで臨んだ運動会。伝統の中に息づく豊玉中の精神を再確認することができました。

『熱い涙』

保健体育科 山口 弘子

今年度の運動会は、“勝利まで羽ばたけ今こそ輝く瞬間”のスローガン通り生徒一人一人が輝き、自分の持っている力を十分に発揮できた見ごたえのある運動会だったと思います。運動会を通して印象に残ったのは、生徒の流す「涙」でした。そこには、一生懸命努力してきたからこそ流せる涙や、仲間と共に一緒に戦った熱い思いがいっぱい詰まっていました。私は生徒の流す涙を見て、クラスや全校生徒が一つになって、競技や技を成功させた時にしか味わえない一体感の素晴らしさを、確実に生徒達は感じる事ができたと確信しました。運動会だからこそ味わえる興奮や感動を、来年度も生徒が味わえるよう、これからも本気で生徒と向き合っていきたいと思っています。保護者・おやじの会の皆様、地域の方々、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



■1年生は、今月の26日に川越で校外学習を、2年生は27日に横浜で校外学習を行います。歴史と文化が彩る街並みを班ごとに散策し、実際に目で見た学びを体験してきましょう。

『川越校外学習にむけて』

1学年校外学習担当 山口 佳子

今、1年生では川越校外学習に向けてコースの作成・学習に取り組んでいます。川越は江戸時代城下町として栄え、今でもその名残をとどめる本丸御殿、徳川氏ゆかりの仙波東照宮や喜多院、蔵造りの町並みがあり、歴史の息吹を感じることができます。事前に川越についてテーマをもって学習することで川越への関心をもち、実際に行くことで学習した内容を目で見て肌で感じ、より関心や理解を深めて欲しいと思います。また、初めての班別行動で自主的に行動すると共に、仲間と協力してやり遂げることの楽しさや、充実感を味わって欲しいと願っています。

『せかいのはじまり』

2学年校外学習担当 桑原 宏一

運動会も終わり、クラスの団結力を高めることができました。いよいよ、横浜への校外学習を迎えます。班で協力をして、横浜の地が発祥であるものや、横浜ならではのものを調べてきました。ちょうど今、当日にどのように見学しようか話し合っている所です。1年生の時の校外学習を大成功に終え、修学旅行に向けての練習として位置づけられる今回の校外学習。どんなハプニングも班の仲間と臨機応変に対応し、横浜の文化をしっかりと肌で感じて欲しいと思っています。素晴らしい校外学習になることを期待しています。

■6月9日から教育実習が始まっています。実習生から皆さんへメッセージをいただきました。

『教育実習生からの挨拶』

教育実習生 南 麻衣子

私は美術教育だけでなく、普段の大学生活では経験することの出来ない内容の濃い生活を生徒と共に過ごすことで、教師として必要な心を養えればと思っています。廊下などで見かけたら、名前と一緒に元気に挨拶してきてくれたら嬉しいです。3週間宜しくお祈りします。